

けやき

Vol.16**2021.7**発行/宝塚さざんか福祉会
宝塚けやきの里

命の尊さと、それぞれの『幸せ』について

長かった梅雨も明け、東京オリンピックが開催されました。コロナ禍での開催という事で、賛否両論たくさん意見があると思いますが、日本人選手がメダルを獲得すると盛り上がりますね。7月26日の朝刊の一面は、兄弟で金メダルを取った柔道の選手の笑顔がまぶしく輝いておりました。華やかな話題もいいのですが、7月26日は決して忘れてはいけない事件がありました。それは、神奈川県立津久井やまゆり園にて大量殺人事件が発生した日です。

事件は2016年（平成28年）7月26日でしたので、あれから5年の歳月が経ちました。19人もの尊い命がなくなり、26人もの負傷者が出たとても残酷な事件でありました。加害者は、元職員（生活支援員）で、動機は「意思疎通のできない重度の障害者は不幸かつ社会に不要な存在であるため、重度障害者を安楽死させれば世界平和につながる」と自己勝手な思想だったとの事です。

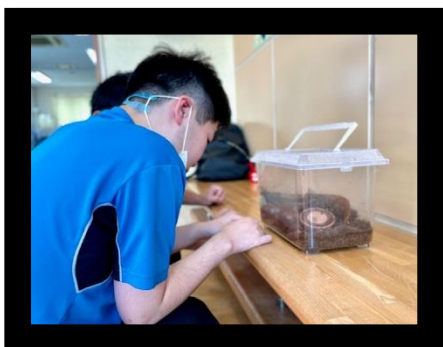
このような事件だからこそ風化させず、この事件から見えてきたものを語り継ぎ、命の尊さや尊厳、幸せについて改めて見つめ直し、考える機会にして頂けたらと思います。

所長 脇田 幸治

今月のトピックス

カブトムシがやってきました。

利用者ご家族からカブトムシを寄贈頂きました。利用者の中には動物や昆虫図鑑が好きで書物や写真を通して見たことがあるという方もいらっしゃるのですが、なかなか実物のカブトムシを見る機会は少なく、利用者或いは職員共々、この機会に昆虫観察を行いました。自然に触れ、命の尊さを考える良い機会になりました。



オンラインで研修参加。

コロナ禍において職員の外部研修等への参加について、一部オンラインでの研修参加等も行っております。オンラインでの参加方法は昨年度から少しずつ導入していき、2年目となる今年度は概ね職員間でも浸透してきたように思います。この機会にICTの利活用とまではなかなかいかないかもしれませんが、昨今、在宅ワーク向けに様々なガジェットが幅広く販売されているようでパソコンや電子機器の活用方法について勉強中です。



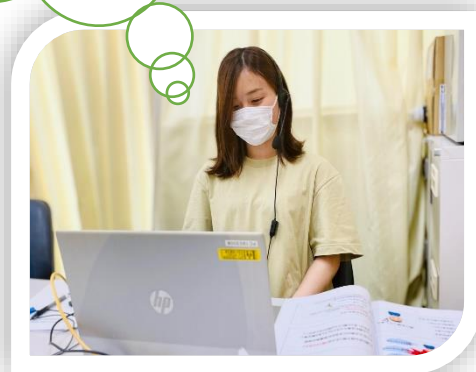
入社1年目の職員にオンラインでの研修参加について聞いてみました。

学生時代にも一部、オンラインでの授業等は経験しましたが、なかなか慣れません。しかし新たなことにもチャレンジしていきたいと思います。



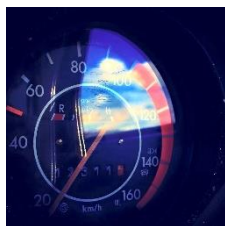
研修だけでなく、コミュニケーションは直接対面でないとなかなか取りづらいものですね。それでも「新たなことにチャレンジしたい」という前向きな意見を聴くことができました。

我々も負けじとたくさん挑戦していきたいと思います。



編集後記

今月は事業所にカブトムシがやってくるというめったにない機会でした。ここで少し私個人のお話をさせていただきます。私の地元は電車も走っていないのどかな地域で、そこではカブトムシはもちろんのことたくさんの昆虫や自然と触れ合うことができます。しかしながら私は幼い頃から昆虫が苦手でした。カブトムシにちなんで“カブトムシ”との愛称で呼ばれるドイツ製の自動車は少し詳しい方なのですが…そんな私も今回、生身のカブトムシと触れ合う中でどこか懐かしい気持ちになりました。幼少期に友人が自慢げに虫かごに捕獲した昆虫を持ってきていたこと。大事に飼育するもしばらくして死んでしまい、幼いながらも悲しみ涙して命の尊さについて考えたこと等、今思えば何気ない幼少期の思い出かもしれませんが、現在の自分に少し掘り下げた形で響けばなといういろいろと思いを巡らしているところです。ちなみに自動車の“カブトムシ”は言うなれば工業製品ですが、それにも命、魂が宿るという考え方、専門用語でいうとアニミズムと言いますが、そんな考えの基、自動車の“カブトムシ”を主人公にしてコミカルに描かれた映画作品もあります。その作品の中では自動車の“カブトムシ”がひとりでの動き出して、人間たちとの人生を歩みます。物に命や魂が宿るかどうかという考えも人それぞれですが、ここで取り上げた工業製品一つとして大切にしたいと思う今日この頃です。



主任・サービス管理責任者 片山 翼

社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚けやきの里

〒665-0825 兵庫県 宝塚市 安倉西4丁目1番1号 TEL:0797-81-9161 FAX:0797-81-9162

e-Mail: keyakinosato@sazankafukushi.com HP: <http://www.sazankafukushi.org/>

